

## 2020年度第6回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日時：2020年12月07日(月)13:00～16:54

会場：日本代協会議室

出席者：全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 2名(杉本監事、津田監事)

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

### 会長挨拶骨子

・コロナ禍の第3波が押し寄せている師走で例年とは異なる忙しさの中、WEB会議に参加いただき感謝申し上げます。11月27日までは正副会長はリアル集合としていたが、感染拡大の状況からWEB開催に変更した。お客さま対応も代協活動も身を引き締めて臨みたい。

### < 前回理事会 10/15 以降の業務報告 >

・11/14(土) J C 保険部会主催の国際保険流通会議 in 東京 2020 にパネラーとして参加した。テーマは、『顧客本位の業務運営を考える～有事の際でも品質を落とさずにサービスを提供する～』で、コロナ禍において保険流通に関わる者の態勢整備とBCPのあり方をクローズアップした内容でいい企画だった。最初に講演された中小企業庁の経営安定対策室長の資料にて、『中小企業・従業員100名以下のBCP対策は不十分で、20名以下については「BCP対策実施済」が2.2%、「BCPを知らない」が56.3%という実態であること』が報告され、愕然とした。地域のリスクマネージャーとして自社でのBCP策定や訓練は当たり前前に実践し、顧客への周知も不可欠である。日本代協BCPシートの作成は当たり前で、お客さまへの展開を進めよう。

なお、会議の開催方式はWEBハイブリッド開催(会場はベルサール飯田橋駅前)であったが、総参加者は80名ほどで、年々参加者が減っていることが残念である。

### < その他情報 >

・Amazonは2025年までに3,250基の衛星を上げ、地球全体の95%を高速通信ネットワークでつなぐ計画を立てている。5Gそして6G時代へ向けた取り組みが加速している。5年先のニュー・ニューノーマルの時代では働き方や生活様式も一変するのは明らかである。頭を柔軟にして情報を確認していく必要がある。

・コロナのワクチン(遺伝子を人工的に作る形のワクチン)も有効性94%-95%とは言われているが、安全性については検証が不足している状態である。今は何よりも感染防止対策を実行していくことが肝要である。

今年も残り25日、WEB会議も活用しながら、事業計画完遂を目指して取り組みを進めよう。

リモート会議だからこそもっと闊達な論議を求めたい。リアル開催に少しでも近づけられるよう熱い論議をお願いする。

## 〔 審議事項 〕

### 1. 2021年度日本代協事業計画の検討

・事務局より、資料に基づき、2021年度日本代協事業計画に対する提言内容について、報告があり、対応案ならびに検討内容について、審議採決の結果、全会一致で承認された。

#### 【決定したこと】

- ・本日の議論を踏まえて、2021年度事業計画(案)を作成する。
- ・事業計画案は来年2月の理事会の審議議案に入れる。
- ・「2021年度日本代協事業計画に対する提言検討案」の第6回理事会審議結果を追記した資料を議事録に添付し、配信する。

### 【主な内容】

- ・ 基本的な考え方として、提言の趣旨を出来る限り計画に織り込むようにしている。
- ・ NO. 1の「心理的安全性」は「心理的安全性」の記載ミスであり修正して審議した。

〔資料 審1.〕2021年度事業計画：提言への対応案(含む提言書本文)(P.1-5)

## 2. 仲間づくり推進黨会・増強Wキャンペーンの実施

- ・ 中島組織委員長より、資料に基づいて、仲間づくり推進黨会キャンペーンの実施について提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

### 【決定したこと】

- ・ 「各代協の自主目標や年間入会目標の達成」の起爆剤として、以下の「代協仲間づくり推進黨会・増強Wキャンペーン」を実施する。
  - 「期間入会目標(年間入会目標×50%[切り上げ])」を入賞基準とする『入会目標達成キャンペーン』を実施する。期間は12/8～3/31。11月の入会もカウントする。
  - 対前年会員数の減店を食い止めた代協を表彰する『年度通算の減店脱却キャンペーン』(年度通算して±0店以上)も併行して行う。期間は12/8～3/31。
- ・ キャンペーンの詳細内容は、12/8(火)にレターを配信する。

### 【主な説明、意見】

- ・ 10月末日現在の代協正会員数は2020年3月末比較 255店の11,513店(入会151店・退会406店)という現状で、コロナ禍の影響による入会活動の制限もあり、苦戦を強いられている。
- ・ 保険会社頼みで終始している代協が散見される。組織として仲間づくり推進のPDCAを回すことが大切である。
- ・ WEBセミナーの企画・推進ならびに代理店賠償・日本代協アカデミー・代理店経営サポートデスク作成の支援ツールなどの情宣を行い、さらにコンサルティングコース受講勸奨活動における教育委員と組織委員の連携を密に行い、一定期間集中して取り組むことで流れを変えたい。
- ・ 「代協の魅力とは」(参考1)を確認のうえ、地域に合った作戦を練り直して臨んでいただきたい。

〔資料 審2.〕2020年度仲間づくり推進黨会・増強Wキャンペーンの実施(P.6-11)

## 3. 会員懇談会質問事項への回答(案)

- ・ 事務局より、会員懇談会の質問事項への回答案が説明され、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

### 【決定したこと】

- ・ 回答案のとおり、会員にお知らせする。
- ・ 改善を求める事項については、継続して対応策を検討・実施する。

### 【主な説明・意見】

- ・ 今回の質問事項は、過去から論点となっていた項目でもある手数料体系、代理店経営指導、募集の公平性、代理店の手数料負担について、改めて法的な問題点とビジネス上の問題点等に整理し、問題の本質を共有できるよう記載した。
- ・ 冷静に現状を整理し、この現状を踏まえて、次善策を検討、実施することが重要である。

#### 4 . 2021 年度第 39 次 P I A S の中止

・事務局より、2021 年度第 39 次 P I A S の中止について提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

**【決定したこと】**

- ・第 39 次 P I A S を中止とする。

**【主な説明・意見】**

- ・コロナ禍の現下情勢から、渡航制限解除も見通しが立たず、CPCU サンフランシスコ支部も研修を受け入れられる状態ではないため、企画開催を断念せざるを得ない。

#### 5 . 社労士診断認証制度

・事務局より、資料に基づき、社労士診断認証制度について説明があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

**【決定したこと】**

- ・全国社労士会連合会と連携し、「社労士診断認証制度」の活用に積極的に取り組む。

**【主な説明・意見】**

- ・社労士会連合会では、労務コンプライアンスや働き方改革に取り組む企業を支援するため、2020 年 4 月より取組み企業に対して社労士が診断し、認証マークを発行する事業を始めている。安心企業としてアピールでき、従業員満足度の向上や人材確保などに活かせる仕組みである。
- ・まずは「職場環境改善宣言企業」の認証を受け、さらに制度の活用を進めたい会員は、経営労務診断実施企業、さらには経営労務診断適合企業の認定を目指すこととする。顧客本位の業務運営や B C P の取組み同様、宣言をして取り組むことが重要であると考えます。
- ・認証の登録や掲載費用は無料であるが、診断報酬費は発生する。新規依頼の場合、既に顧問契約している企業、労務監査を受けている企業によって報酬費は変動する。

### [報告事項]

#### 1 . 事業計画進捗状況にかかる報告

##### ( 1 ) 地区担当理事からの報告

事前提出され、書庫に登載されている事業計画アクションシートへの記載事項で強調したい点ならびに記載事項以外について、以下のコメントがあり、共有された。

- ・入会 1 会員について 1 万円の補助を行い、仲間づくり推進している。
- ・ラジオ放送で毎週火曜日@8 分で 4 回、代協活動の P R を実施している。
- ・担当区域内でも W E B 活用にバラツキがあるため、是正する。
- ・事業計画アクションシートを理事会毎ベースではなく、四半期ごとの報告にすることを検討いただきたい。
- ・情報のキャッチボールをするためのアクションシートの数値やコメントの記入をしっかりとるところから仕切り直し中である。

- ・仲間づくりでは、保険会社頼みで終わってしまっている代協があるため、P D C Aのサポートを行っていきたい。
- ・理事会前に3回目となる地域担当理事W E Bミーティングを実施した。
- ・近畿、阪神も三冠連覇・獲得で意思結集した。
- ・W E Bを駆使して、セミナー、支部会、打合せ、合同ブロック協議会も実施する。
- ・次世代部会が大学教授を講師にセミナー開催し、活動を行っている。
- ・事業計画アクションシートは提出・報告のためのものではなく、各代協のP D C Aのために作成し、情報をキャッチボールするものである。
- ・11月6日の九州北4県合同セミナーは活況を呈した。742名が参加し、アンケートも273名から提出があり、次回企画につなげていく。12月に支部セミナーも続けて実施する。
- ・W E B活用に関しては今後ブレイクアウトセッションを活用し、グループディスカッションも多用する。「走りながら考える。習うより、慣れる」でフォローする。

〔地区別委員会別資料〕各ブロック別事業計画アクションシート(P.1-20)

## (2) 委員会担当理事からの報告

### 企画環境委員会

松本委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

委員会開催に当たっては、毎回事前にアンケートを発信し、運営につなげている。

#### ・共通化・標準化の検討

オンライン募集は損保各社が計上システムと紐付けした開発を進めており、またオンライン募集やテレワークに関するルールについては募集コンプライアンスガイドの改定に盛り込むことが確認できたが、細かい部分は各社マターとなることが判明したので個社対応を展開する。

#### ・募集実態のモニタリングと具体的対応策の実施

事案に関する情報量が不足（具体性のないものもある）しているため、「不正募集ヒアリングシート兼報告書」や「不正募集フローチャート」の周知を継続して取り組むとともに報告方法を検討する。

また、昨今の競争環境の中では保守的発想からの脱却が必要で、守りから攻めることへの意識転換が重要であることを浸透させていきたい。

#### ・チャネル間競争力強化策・消費者並びに契約者に代理店の価値を伝える施策の検討提示

イ.代理店の付加価値向上 と ロ.成長への道標の作成に取り組んでいく。

イ.提携事業の拡大・活用に関しては、自動車関連以外の非金融事業者との提携に改めて目を向けられるよう映像コンテンツでの情宣も検討する。また、日企の「保険eステーション」という物品等の提供サイトも活用を検討する。

ロ.成長への道標（あるべき姿へのロードマップ）の作成に関しては、「地域・比較推奨無・小規模」のモデルについて、研究会組織でたたき台を作成する。

#### ・自主取組事項

##### イ.顧客本位の実現のために

高度なりスクコンサルティング能力と代理店の組織化が必要である。日本代協アカ

デミーや代理店経営サポートデスクとの連携や外部提携により、継続的に学ぶ企業風土を有する会員の輩出に取り組む。

ロ.効果的・効率的な委員会運営

コミュニケーションを活性化するために、委員長と各代協の企画環境委員との直接のメールホットラインを開始した。実態確認や情報提供を継続する。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/a9293ea0208263>

ハ.「現状と課題」サマライズ版の作成

「代協活動の現状と課題」の内容の理解促進も兼ねて、全委員で役割分担のうえ、現状と課題のサマライズ版を作成し、11/5にメール配信した。

〔地域別委員会別資料〕企画環境委員会報告シート（P.21）

教育委員会

石川委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

・日本代協アカデミーの展開

- ・11月26日集計結果では、789店・5,598IDの登録更新がし、2020年度のID登録の増減では+1,406IDで、6代協が目標を達成している。1IDのみ試用登録していた会員で所属募集人を追加登録する事例も複数確認できているが、自社内の教育のルーティンにまで落とし込んでいる会員は多くないことも確認できたので、対策を検討する。

茨城・滋賀・奈良・大阪・福岡・熊本が「目指せ、三冠王！」の目標を達成した。三重・鳥取が75%超と続いている。

- ・展開方法については、日常の問い合わせにて、登録方法に関する質問が入るなど周知が進んだとは言えない状態であるため、改めて対策を練る。
- ・各地のWEBセミナーにて、友呼び周知の活動を展開しており、今後も動画を活用して周知活動を展開する。

・損害保険大学課程の運営・検証・改善

- ・損保各社、損保協会からの要請もあり、コロナ禍でも工夫して認定者を輩出できる運営が使命となっている。（一般試験等のCBT試験も工夫して開催している。）
- ・コロナ禍の中でリアル集合型セミナーを再開したが、11/5の東京から12/4の東中国まで9か所で開催できている。運営スタッフで、考えられる万全な感染予防対策を実施して開催に漕ぎつけている。第1回セミナーを11月～2月中旬に、第2回セミナーを2月中旬～5月（最長で6月月初）の期間で設営するが、今後の感染拡大状況により再修正もあり得る。セミナー運営への変わらぬご支援をお願いします。

CBT試験会場の基準と連携し、会場におけるコロナウイルス感染防止策基準を設け、下記の . . .セミナー開催の延期等の判断基準に基づいて、各地の状況を注視しながら運営している。

- ・感染状況ステージの7指標を総合的に判断し、ステージ4に達していると判断した場合（開催2週間前に数値等により延期等の対応を判断する）
- ・各都道府県知事から移動自粛制限等が発出された場合は直ちに延期等の対応を判

断する。

なお、今後の感染者数の再拡大の可能性も視野に入れ、セミナーのレクチャー動画の制作や Zoom ブレークアウトセッションの活用について、並行して検討を進めているが、Zoom 運営スタッフ、オペレーター・拠点確保などの課題が解決できていない。

- ・次年度募集については、12月1日に受講申込受付を開始した。募集ツールについては、10月21日にPDFファイルで日本代協ホームページに掲載済、紙媒体ツールは11月9日に各地到着済である。また受講勸奨動画（石川委員長・5分もの）もホームページに掲載しているので活用いただきたい。「3冠王」項目の早期達成へ向け、推進をお願いする。
- ・損保トータルプランナーの魅力度向上
- ・「認定バッジの購入」に関しては、認定者が申込をする方式と各代協が団体申込をする方式について、案内を配信した。教育委員、各代協役員に申込方法を周知し、日常業務においても着用を励行することで消費者への周知につなげていきたい。
- ・改めて認定者自身の「3つの基本行動の励行」をお願いしたい。「代理店事務所内にポスターを掲示、認定証（ゴールドカード）・認定バッジの提示、ちらしの交付」により、社会的信認度向上の草の根運動を展開いただきたい。

〔地域別委員会別資料〕教育委員会報告シート（P.22）

〔資料 報3.〕1. 損保大学課程各コースの認定状況等（P.22-23）

〔資料 報3.〕2. 2021年4月開講コンサルティングコース受講申込状況日報（P.24）

〔資料 報3.〕3. トータルプランナーゴールドバッジ申込書、販売状況（P.25-26）

〔資料 報3.〕4. 2020年トータルプランナー認定授与式代替策（P.27-28）

#### 組織委員会

中島委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

##### ・代協・支部の強化

- ・direct で各地のWEBセミナーの企画、案内を共有し、情報交換（好取組事例、運営の工夫、改善ポイントなど）を行っている。

##### ・「仲間づくり」の推進

- ・計画的に推進できている代協と活動が止まっている代協とに明暗が分かれている状況である。保険会社に要請したままで止まっている代協は今一度、PDCAのCAを行ってほしい。WEB会議・セミナーを活用して仲間づくりにつなげてほしい。

「仲間づくり推進入会・増強Wキャンペーン」を活用して、流れを変えていきたい。

##### ・代理店賠償の推進

- ・WEBセミナー（開催時のアフターフォローに工夫を行う）を活用して「仲間づくり」につなげる。

##### ・「会員資格と会費モデル」の検証と推進

- ・「都道府県別募集人数別会員分布一覧表」も10名超のところを細分化した。

##### ・自主取組項目

- ・BCP策定と中小企業事業継続力強化計画認定取得

粕谷代理店経営相談室長に2回目のBCPミニセミナーの講師を担当いただいた。全組織委員が中小企業事業継続力強化計画の認定を取得できるよう継続開催し、仲間づ

くり推進にもつなげる。

〔地域別委員会別資料〕組織委員会報告シート（P.23-38）

### CSR委員会

廣瀬委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

・防災・減災の具体的な取組みの検討・推進

・地域のリスクマネージャーを標榜する会員は、ハザードマップ説明・活用が不可欠である。「ハザードマップ活用基本ガイド」を作成したので、お客さまとのリスク・コミュニケーションに活用いただきたい。損保協会経由で国交省にも渡ったが評価いただいた。

・ぼうさい探検隊の積極推進

・「ぼうさい探検隊」は、コロナ禍においても工夫を重ねて実践していただき、138団体・243マップ(去年は178団体・384マップ)の提出となった。全体でも307団体の提出だったので、代協ルートの提出マップの占有率は45%と跳ね上がった。マップ提出が「0」の代協が5代協あり残念であったが、29代協が目標を達成した。本日12/7(月)マップコンクールの本審査会を開催しており、入賞作品の選定審査が行われている。

表彰式は1月23日(土)にWEB開催される。今年も「日本代協賞」を授与する。また、代協関連で参加した児童には、クレヨン(ふうたシール貼り)を提供する。

・BCPの推進

・WEBを使用したBCPセミナーの企画、開催が進んできた。福島、鳥取、茨城、沖縄、宮崎が代協版BCPセミナーを開催済、広島、大分、北海道、東京では企画済で、愛知、東関東ブロックでは外部講師版で開催済である。

・サイバーセキュリティ対策の推進

・以下の代協で本年度セミナー開催を企画している。

青森・岩手・宮城・やまがた・福島・埼玉・千葉・東京・広島・香川・福岡・大分・長崎・熊本

・各代理店のセキュリティ対策として、損保クラウドの活用を確認していく。

メール広告が入る「損保cloud」は損保業界が推進している「損保クラウド」とは別物であり、各損保社のチェックを受けたサービスではない。コストは安い、機能面・サポート面で劣っており、現段階では推奨できない。

・自主取組事項

・リアル集合せずに実施できるボランティア活動がないか検討している。

CSR活動チェックシートで事業計画の進捗状況について情報共有し、支援する。

〔地区別委員会別資料〕CSR委員会報告シート（P.39）

### 広報委員会からの報告

野原委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

#### 【主な内容】

・PR企画

・正副会長の動画、メイン動画はほぼ完成し、各代協の収録も31代協が校了とほぼ順調に進んでいる。各代協の収録動画の内容も委員会で精査している。

< 動画撮影完了しているが、最終校了の返答未済の代協 >

青森・秋田・宮城・茨城・埼玉・神奈川・滋賀・岐阜・富山・福井・京都・広島・  
愛媛・長崎・宮崎

国土交通省から「全国の災害が見られるサイトが少ないので、このようにひとまとめで見られるサイトがあると非常にありがたい」と企画会社経由でコメントが届いている。Twitter 配信は特設サイト配信日程から少しずらして1月15日までにリリースの予定。(理由:元日に配信しても見られる確率は少ないと予想、3・11に向けた情勢やマスコミの動向を見ながら徐々に配信する方がいいと考えた。)

昨年まで消費者を飽きさせないよう配信を工夫し、一週間に2代協ずつ3か月かけて配信していたが、今回は特設サイトと同時に一斉配信する。3・11がメディアでクローズアップされていく中でYouTubeやTwitterから特設サイトへ誘導することが有効だと考えた。

- ・日本代協・各代協のホームページの活用と対外広報活動の企画・推進
- ・各代協のホームページの活用推進に当たり、「ホームページガイドライン制作PT」を開催し、SNSとのすみ分けを含め、あり方の討議を継続している。各代協で自主点検ができるフォームを検討している。年度内リリースへ向け、取り組んでいる。
- ・「みなさまの保険情報」の利用拡大に向けた活用推進
- ・PDF購入者の活用事例を収集し、ホームページやWEBでの活用方法を情宣する。作成中のPPTツールは年内リリースの予定。

.Zoom活用の推進

- ・インプリメント社に支援いただき、「Zoom活用動画(初級・中級・上級編)」の制作に取り組んでいる。初級編の動画が完成したので、各代協あて12/1にデータ配信済。ミーティング形式の運営方法を解説する中級編、セミナー運営方法を解説する上級編を制作中である。1月下旬~2月に提供できる予定。委員や各代協の積極的な活用を支援する。

初級編動画のURL

<https://vimeo.com/476763412> パスワード : daikyo

[地域別委員会別資料.] 広報委員会報告シート(P.40)

### 3. 前回理事会(2020.10.15開催)以降の主な業務報告

#### (1) 仲間づくり推進 11月末状況のご報告

- ・事務局より、資料に基づき、11月末仲間づくり推進の状況について報告があり、確認、共有された。

#### 【主な内容】

- ・11月末正会員数は、11,490店(前年度末11,768店から278店減少、入会167店、退会445店[うち廃業・合併等の理由による退会は308店と全退会者の69%を占めている])
- ・換算組織率は全国で49.0%(11,490/23,439店)、代協別では、京都83.9%、香川78.6%、高知73.9%、徳島72.4%、鳥取71.4%、岡山71.4%、滋賀71.1%、奈良70.9%と組織率70%以上。
- ・代申社別では、SJ 121店、TN 95店、MS 35店、AD 14店、日新 6店、AIG・大同 3店、共栄



2店と減店の一方で chubb + 2店、楽天 + 1店である。

- ・京都・福井・佐賀・長崎・山梨の5代協が年間入会目標を達成している。

〔資料 報 1.〕仲間づくり推進 11月末(1.代協別、2.代申社別) (P.19-20)

## (2) 日本代協アカデミーの展開

- ・教育委員会石川委員長より、委員会活動発表時に、資料に基づき、11/26現在の日本代協アカデミーID登録状況について報告があり、確認、共有された。

〔資料 報 2.〕日本代協アカデミー利用登録ID数 11/26集計 (P.21)

## (3) 損害保険大学課程

- ・事務局より、資料に基づき、「損保トータルプランナー」の認定状況等および「コンサルティングコース受講申込状況」ならびに「損害保険トータルプランナー認定バッジの申込方法」および今年中止となった「損害保険トータルプランナー認定授与式」の代替策について報告があり、確認、共有された。

### 【主な内容】

#### 損害保険トータルプランナーの認定状況等

・10月末時点	損害保険トータルプランナー	17,181名 (+ 78名)
	認定有効者数	15,109名 (+ 61名)
	代理店検索機能登録	4,201店 (+ 52店)
	損害保険プランナー	87,324名 (+ 546名)
	有効認定者数	38,575名 ( 142名)
	ゴールドカード保有者	7,048名 (+ 94名)

〔資料 報 3.〕1.損保大学課程各コースの認定状況等 (P.22-23)

#### コンサルティングコース受講勸奨

- ・受講申込受付期間：2020年12月1日～2021年2月12日
- ・12/1から申込システムを稼働させている。紙媒体ツールは11/9に各地に配信済、受講勸奨動画もホームページにアップ済。12/4集計で有効申込者数96名(昨年同日は48名)とコロナ禍にあっても順調にスタートした。

<https://www.nihondaikyo.or.jp/guideline01-04#01-04-03>

- ・業務品質の指標となる「代理店内の認定者実数・認定者割合」の拡大を念頭に置き、各代協の早期目標達成へ向け、連携・支援をお願いする。
- ・損害保険トータルプランナー認定ゴールドバッジの購入方法について、11月24日に各代協会長、事務局あてにメールを配信した。本来は、認定者自身が購入申込をすることとなっているが、認定証授与などを各代協行事で企画し、認定証・バッジを記念品として手交したいという要望があり、団体注文の仕組みの構築を要請していた。11月24日に損保協会から対応方法について回答があり、各代協単位で申込みする団体注文の仕組みが実現した。

〔資料 報 3.〕2.2021年4月開講コンサルティングコース受講申込状況日報(P.24)

〔資料 報 3.〕3.トータルプランナーゴールドバッジ申込書、販売状況 (P.25-26)

〔資料 報 3.〕4.2020年トータルプランナー認定授与式代替策 (P.27-28)

## (4) 2020年度「目指せ、三冠王」ニュース

- ・事務局より、「目指せ、三冠王！」ニュースについて報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・2020年度の事業計画の重点項目の完遂を目指して、「目指せ、三冠王！」ニュース週報配信を行う。

〔資料 報4.〕「目指せ、三冠王！」1204ニュース(P.29)

(5) 2020年度第2回活力研 開催概要

- ・2020年度第2回活力研の開催予定の概要について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・2021年2月にWEB会議で開催すべく調整中である。
- ・出席予定者：あいおいニッセイ同和、損保ジャパン日本興亜、東京海上日動、三井住友海上の営業推進担当部長及び日本代協正副会長、企画環境委員長、栗山アドバイザー、事務局。

(6) 日本代協ニュース新年号記事

- ・事務局より、日本代協ニュース新年号に掲載記事・形態について、報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・2021年1月初旬に配布する「日本代協ニュース新年号」は毎年コンベンションの記事を取り上げ、タブロイド版で配信しているが、コンベンションの中止に伴い、データ配信とする。

(7) 代協会員向け「ハザードマップ活用基本ガイド」による契約者への情報提供の推進

- ・事務局より、資料に基づき、ハザードマップ活用基本ガイドについて報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・保険料がハザードマップに連動し、不動産業者にはハザードマップによる水害リスク説明が8月28日より義務化されている。会員代理店内の勉強会や不動産業者との提携開拓などに活用いただきたい。
- ・地域のリスクマネージャーとして、ハザードマップに習熟し、お客さまのリスクコントロール・リスクファイナンスにきめ細かく関わり、信頼を得ることが不可欠な時代である。「基本ガイド」を提供し、契約者への情報提供を支援する。
- ・2021年3月2日、東日本大震災から10年となる節目の年ということで、損保協会がセミナーを企画している。リアル参加は100名以下(財務局・金融庁。日本代協が共催、読売新聞社が協賛)
- ・オンライン配信を予定しており、金子会長に出席いただく予定である。被災地で復興に取り組んだ語り部の話と谷地保険事務所の榊原社長(岩手県代協会員)の講演で構成、司会は仲里依紗・中尾明慶夫妻。

〔資料 報5.〕ハザードマップ活用基本ガイド(P.30-45)

(8) 代理店経営サポートデスク「戦略的代理店合併の基本ガイド」(電子版)の提供

- ・事務局より、題記ガイドについて報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・「代理店合併の基本的な考え方」、「代理店経営のリスクと財務のポイント」、「代理店合併の成功と失敗事例」、「代理店合併103問のQ&A」をまとめている。12/2付けで提供済である。
- ・会員代理店の経営者が自身の経営判断として合併を検討する際に参考とするガイドである。経営上のニーズがある方が参考にし、個別の相談は経営サポートデスクに連絡を入れると

いう流れとなる。

〔資料 報 6.〕「戦略的代理店合併の基本ガイド」(別冊追加資料 P.29-48)

#### (9) 各代協事務局職員WEB研修の実施

・事務局より、11/18,11/26 に開催した各代協事務局職員研修について報告があり、共有された。

##### 【主な内容】

- ・11/18(水)13時～17時：講義、11/26(木)13時～17時：情報交換とZoom活用セミナーとして2回に分けて開催、42代協から54名の事務局職員、代協役員・委員が参加した。
- ・今まではリアル集合型開催であったがために4年に1回ペースの開催であったが、参加者からの要望も多く、ニーズ・テーマごとの頻繁な開催を検討する。
- ・「Zoom活用セミナー」は特に評価が高かった。コロナ禍での組織活性化には、WEB活用は欠かせないことならびに事務局強化・充実が欠かせないことが共有された。

〔資料 追加資料 3.〕都道府県代協事務局 職員研修会カリキュラム (追加資料 P.49-50)

## 4. その他

### (1) 業界最新情報

・関東財務局の「代理店との新たな対話」に関する当局の動きについて

金融庁から各地の財務局あてに「関東財務局の対話を参考に、各地の代理店と対話をするように」との指示が出ているとの情報がある。全国の財務局は、関東財務局とは要員規模が異なるものの何らかの動きが出るのが考えられる。

・金融仲介サービス業の動向

12月末までに概要がまとまる見込み。銀行・証券・保険を一本化した新たな登録体系をつくることになっていたが、いろいろと障害があるようで、既存の各登録制度を活用したい意向のようである。損保協会は利用要請を受け入れるかどうか検討中と聞いている。

・自賠償のキャッシュレス化

一歩前進し、前向きに進んでいるものの、新たな課題が立ちはだかっている状況にある。クレカ払いの加盟店手数料を定額低額に抑えられるか、個別加盟・包括加盟の仕組みの差異解消などが課題である。

〔資料 報 7.〕 1. 損保協会 不正請求防止訴求動画 (P.49)

2. 業界関連情報 14, 15, 16 (P.47-55)

3. 1105 インタビュー記事 代理店との温かい対話 (P.56)

4. 保険会社向けの総合的な監督指針(新旧対照表)(P.57-64)

追加資料 2. 保険業法施行規則の一部を改正する内閣府令 (追加資料 P.60)

追加資料 1. 0917 金融庁 業界団体との意見交換会における主な論点 (追加資料 P.51-59)

### (2) その他

・事務局から、添付の資料の概要説明があり、共有された。

〔資料 報 8.〕 1. WEB 大阪代協会員オリエンテーションちらし (P.65-66)

〔資料 報 8.〕 2. WEB 東京代協 youtube 防災セミナー (P.67)

〔資料 報 8.〕 3. WEB 福岡県代協ブロックセミナー1106 (P.68)

〔資料 報 8.〕 4. 1109 新日本記事 松本理事 (P.69)

〔資料 報 8.〕 5.-1 1116 保毎記事 SJ 表明保証保険 (P.70)

〔資料 報 8.〕 5.-2 1118 日経記事 中小 M&A 損保が安全網 (P.71)

〔資料 報 8.〕 7. 1111 保毎記事 AIG ARC 制度 (P.72)

〔資料 報 8.〕 8. JCM 令和 2 年 10 月報告 (P.73)

〔追加資料〕 9. 日企 代協向け ec サイト (追加資料 P.61)

## 〔 監事講評 〕

杉本監事から以下の通り監事講評があった。

- ・ W E B 会議も 4 回目ということで皆さん慣れてきたという印象がある。工夫して活動しており、代協活動も徐々に元通りに戻ってきていると感じた熱心な討議だった。議事運営は適正になされたものと判断する。
- ・ 審議事項 5 項目であったが、W E B や動画を活用した会議体ができる環境になってきており、セミナー等の実施により、会員への情報提供ができていることが確認できた。仲間づくり推進の活動に役立つようにしていくことを期待したい。
- ・ 会員懇談会の質問への回答について、「回答をお知らせする」という形で決議された。回答内容は、現状を考えて、客観的に整理し、経緯も含めて丁寧に説明したものとなっているが、各理事が会員への解説に不安を覚えていたことが画面を通して確認できたので、正副会長・事務局他でフォローをお願いする。
- ・ 社労士診断認証制度については、連携して推進することを決議したが、どう運用していくかがキーとなるので詳細説明が必要と考える。
- ・ コロナウイルスは収束どころか感染拡大が続いている。理事の皆さまとお会いできる日が 1 日も早く訪れることを祈念している。

以上

< 諸会議開催予定 >

2020年11月～2021年5月のスケジュール（案）

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2020年度	11月18日(水)	13:00～17:00	各代協事務局職員WEB研修(レクチャーパート)	WEB会議開催 ZOOM
	11月26日(木)	13:00～17:00	各代協事務局職員WEB研修(ディスカッションパート)	WEB会議開催 ZOOM
	12月7日(月)	10:30～12:00	正副会長打合せ	WEB会議開催 ZOOM (HYB開催:正副会長リアル)
		13:00～17:00	第6回理事会 テーマ:通常議題	
	12月8日(火)	11:00～16:00	第2回会長懇談会	WEB会議Zoom開催 (HYB開催:正副会長リアル)  中止
		16:30～18:00	セミナー「金融当局の代理店検査とは？」～今保険代理店に 求められている取組みは？～ 成島 康宏 日本代協ADV	
		18:10～19:30	同上懇親会(有志・会費制)	
2月5日(金)	9:15～10:15	正副会長打合せ	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催	
	10:30～12:00	財務委員会		
3月4日(木)	13:00～17:00	第7回理事会 テーマ:事業計画案、他通常議題	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催	
	10:30～12:00	正副会長打合せ		
3月5日(金)	13:00～17:00	第8回理事会 テーマ:総会運営、通常課題	リアル:損保会館 大会議室 又はWEB会議Zoom出席型開催	
	10:00～	2020年度 臨時総会		
	12:45～16:45	第3回会長懇談会		
2021年度	5月7日(金)	17:00～18:00	セミナー	リアル:日本代協 会議室 又はWEB会議Zoom開催
		13:00～17:00	第1回理事会 テーマ:事業報告・決算報告他 通常議題	

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後4時54分閉会した。  
上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2020年12月7日

議長                      会長                      金子 智明                      印

議事録署名人              監事                      杉本 恭三                      印

議事録署名人              監事                      津田 文雄                      印